

< 第1回現地研修会の開催 >

平成17年8月12日(金)

1. 参加者:26名

2. 集合場所・時間:(財)茨城県建設技術管理センター 研修センター2階第1会議室
午前11時集合

3. 座学の部

(1)「GIS総合研究所いばらき」の齊藤修様から高性能センサーを用いたセンシングネットワークの応用で、橋梁の挙動を把握する方法等についての提案について、説明して頂きました。劣化や異常変位などの把握が電波搬送でパソコン表示ができるなどが可能となるとのことです。



(2) 橋梁点検カルテの部

・橋梁点検分科会経過報告について
道路公社豊島部長から報告して頂きました。

・本日の現地研修会の説明

参加者26名を3班に分け、1班が水府橋(9名)、2班が文京橋(9名)、3班が中河内陸橋(8名)としました。

平成3年度に、県道路維持課が行った県内道路橋の点検結果表を参考に、新たに各グループから提案して頂きました点検カルテ等の運用について実際の橋梁を見て頂き、どのようなスタイルが望ましいか考えて手頂きました。研修センターに戻ってから、各班で討論を行って頂き、再度点検カルテの修正・改良について提案して頂くことになりました。

(例) 2班の現地点検の状況について

	
1. 文京橋の下で事前打合せ	2. アバットへの漏水状況



3. 水抜き間詰めの石灰化



4. 橋脚への漏水